

神森 接戦制し3連覇

中学春季ハンド

ハンドボールの第45回県中学校春季選手権最終日は30日、県総合運動公園体育館で行われ、男子は神森が27・24で沖繩東を破って3年連続15度目の頂点。女子は仲西が29・21で美東を下して5年ぶり10度目の優勝を果たした。

王者の意地 猛追かわす

実力伯仲、接戦となった男子決勝は神森が、しぶとく食らいつく沖繩東を振り切って3連覇。1月の新人大会で延長の末に逆転負けした悔しさを晴らし、ハンド王国・浦添の意地を見せつけた。身長180センチのエースを擁する沖繩東に、神森はGK上原和真を中心に守備陣形を臨機応変に変えて対応。オフエンス面では伊禮楓雅、親泊寛粹らが速いパス回しか

ら相手DFに当たり負けせず、速攻も絡めて着実に加点した。

宮里優雅主将は「前はこの点差なら大丈夫」と油断して逆転負けした。今日は前半リードしても「0-0のつもりでいこう」と切り替えた。得点源の一人、伊禮は徹底マークされながらも高さでテクニクのある多彩なシュートで9得点。「相手は高くて厳しかったが、決めてやろ

うと思っていた」となすい

前半の3点差が効き、沖繩東の猛追をかわした屋良徹監督は「力は同じ。今回はうちがちよっと運があっただけ」と汗をぬぐい「まだまだ課題は多い。日々の練習を積み重ねていく」と地元開催となった中学総体に向けて気を引き締めた。

(儀間多美子)

3連覇を果たした男子神森



【男子】

▽準決勝
沖繩東 32 21 仲西
神森 31 18 東風平

▽決勝
神森 27 (15) 12 9 24 沖繩東
東風平 31 23 仲西

▽第3シード決定戦
東風平 31 23 仲西

【女子】

▽準決勝
美東 19 17 神森
仲西 31 25 浦添

▽決勝
仲西 29 (16) 13 9 12 21 美東

▽第3シード決定戦
神森 27 26 浦添

⑤男子決勝 神森―沖繩東
後半14分、神森の親泊寛粹が22点目のシュートを決める。

⑥女子決勝 仲西―美東
前半19分、仲西の糸満柚歩が10点目のシュートを決める―県総合運動公園体育館 (伊禮健撮影)



女子仲西 5年ぶりV

前半4点連取 リード譲らず

相手の勢いに押され、3点ビハインドと出たとしてもたついた仲西。前半15分すぎ、長嶺重信監督が取ったタイムが流れを変えた。「練習でやっていることをやればいいんだ」。それから一気に4点連続で逆転すると、一度もリードを譲らず頂点へ駆け上がった。

「今回は速攻しか練習してこなかった(長嶺監督)と、喜ばせたGK山里日奈子は速い展開に持ち込み、美東の守備を切り崩した。

1点差で始まった後半も砂川菜穂、糸満柚歩らがセンター、サイドから攻め続け、最終7点差をつけて試合を決めた。後半、何本もシュートを



女子を制した仲西

じき「よく止めた」と監督を喜ばせたGK山里日奈子は「DFと声を掛け合って止められた」と満足げ。上原悠主将は「前半はエンジンのかかるのが遅かったけど、速攻が出るようになってよかった。もっと声を出し合い、チーム力を高めていく」と夏に向け意気込んだ。